

1998年10月31日 発行

中部SLA協会

総務委員会 広報部会

SLA通信

〒460 名古屋市中区正木1-2-8

第16号

(財) シニアルネサンス財団 内

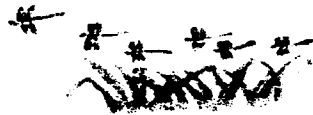
TEL 052 332 7883

目次

1.	今 アドバイザーのなすべきことは	1
2.	地域部会だより	
	北部会	2
	南部会	2
	尾張部会	3
3.	地域部会のこれからのスケジュール	
	北部会・南部会・尾張部会	3
4.	研修部だより	
	研究部会	3.4.5
	パソコン教室	6
5.	研修部のこれからのスケジュール	
	研修部	6
6.	総務委員会より	
	(財) シニアルネサンス財団からのおしらせ	7
	おしらせ	7.8



《今、アドバイザーのなすべきことは!!》



中部SLA協会 会長 山下 可子

去る10月2日、創立記念全体研修会を終えて、会員の方々から口々に、私共、係りに向かって「ご苦勞様。ありがとうございます!」「あつと言う間に時間が過ぎた。」「もう少し時間が欲しかったね。また機会をつくって欲しい!」と、満足のお言葉をいただきました。また「アドバイザーとして心掛ける大切なことに気づくことができた」と、自己評価のお言葉をいただき、うれしく受けとめました。講師の方々に、厚くお礼を申し上げる次第です。さて、私も、講演及び体験談を拝聴して、大いに勇気づけられました。

唐澤和夫先生の貴重な研究資料を提示してのご講演からは、高齢者の病気と心身の健康、心の安定、老いるということ、今後の生き方について、先生のご体験や具体的な情報を基にして、相談者への配慮、その他アドバイザーとしての生き方を示唆していただきました。

海外で研修・訪問（情報交換）された、油田淑子さん、坂田幸子さん、鈴木正司さんの体験談からは、常に前向きに挑戦して（井の中の蛙にならないよう）国際的な視野にたったものの見方、考え方の大切さを確認できました。今後、ぜひ、SLA活動に新風を吹き込んでくださることを、お願い致します。

今、世間一般に、アドバイザーは、「氾濫している情報の中から、正しい情報をあつめ、まとめ、よみとって、流言飛語に惑わされず、適正な意思決定をする情報処理能力と、適切なアドバイスができる実践力と心の安定」が問われています。

SLA通信は、会員の心のこもった情報が、凝縮されていると私は思います。ぜひ、目を通してください。このSLA通信が「情報処理能力」を高める場となり、「生き生きと暮らす」きっかけとなり、「心の安定」の糧となりますようお願いして巻頭の言葉と致します。

◆地域部会別の活動状況



☆名古屋北部会

◇6月1日（月） 「たじみ陶生苑の見学と 懇親会」 勉強会・懇親会

出席者 17名

たじみ陶生苑は全館平屋建てで、全室個室という恵まれた特別養護老人ホームで入所者も落ち着いた雰囲気の中で穏やかな生活に満足している様子でした、ホームの担当者から新しく介護保険がスタートすると生じるであろう問題点について話をききました。懇親会は有名な食事処「〇や」にて部会員の親睦を深め 新たな活動を誓い合い、なごやかな雰囲気終了しました。

◇8月18日 「名古屋市高齢者就業支援センター及びなごや福祉用具プラザ」見学

出席者 11名

センターは高齢者の人生第2ステージで活躍出来るように就業に関する各種サービスの提供をしています。更に 福祉用具プラザでは展示、販売から ”その人に合わせた用具の必要性”を重点に工房で制作、改造、相談に応じております。

こうした有効な社会的資源とも言われる施設や情報を、少しでも多くの人に知ってもらおう働きかけるのも、SLAの役割のひとつではないでしょうか。

☆名古屋南部会

◇7月18日 「定年間近の夫と妻の心のカウンセリング」勉強会

講師 5期生 石井 康之氏 出席者 8名

1. 話のきっかけとなる話題をつくる
2. 個人差を考慮すること、又相手に対する労いを大切に
3. カウンセリングは繰り返すことで効果があり、ホローアップを忘れずに、相手と同じレベルで話し合いをすること 等を学びました。

◇8月22日 「潮騒を楽しむ会」 懇親会

日間賀島 日帰り旅行 出席者 14名

現地の懇親会では、種々話題も多く、和気合い合いのムードで充実した数時間であり



ました、さらに 帰りに美浜町の杉本美術館を見学し、忙しい日々を忘れた時を過ごしました。

◇10月6日 「悪質商法から身を守る」 勉強会
講師 2期生 青井 久子氏 出席者 14名



訪問販売における、クーリング、オフ制度の趣旨について
特にクーリング、オフが可能か、不可能かは簡易チェックリスト等を使用しての説明
は解りやすく、今後参考にして役立てたいと思いました。

☆尾張部会

◇9月22日 「身の回りの環境について考えよう」 勉強会 於：ボランティアセンター 12F
出席者 7名

会員各地の行政が発行したパンフを持ち寄り、家計簿や 暮らしのアイデア、新聞
記事、特集などで身近な所の見直しや、環境について話し合いをしました。当日は台風7
号の接近で、帰路は電車が不通でおおわらわ、加藤愛佐子さんの車のおかげで出席者の
連帯感がこれで一層盛り上がりました。こんな日もいいもんですよ？

★各地域部会 今後の活動スケジュール

◎名古屋北部会

◇11月29日(日) PM 2:00 ~ 4:00 会費 500円 定員 100名
会場 ワーピアつるまい3F集会室(Tel 052-251-3811)(当日受付有り、他地域参加歓迎)
講演テーマ 「在宅医療」について

講師 医学博士 佐久間 貞行氏

(場所 地下鉄鶴舞線①番出口北へ徒歩5分 JR中央本線鶴舞北口西へ徒歩5分)

出席についての問い合わせは 2期 外山 晴美まで Tel 052-711-0777

◎名古屋南部会

◇11月21日 テーマ「海外旅行に役立つ英会話」 他地域参加 OK
講師 3期生 後藤 雅子氏 (連絡先 金田 勘治郎 Tel 0562-34-3504)

◇12月18日 テーマ・講師 未定 他地域参加 OK

場 所 中区丸の内ハイツ東照 久野方(那古野神社そば)

忘年会を取り入れた、会にする予定で計画中です、皆様の参加をお待ちします。

(連絡先 金田 勘治郎 Tel 0562-34-3504)

◎尾張部会

◇11月26日 テーマ「身の回りの環境について考えよう」 他地域参加 OK
話題の藤前千瀉と長良川河口堰の見学(連絡先 小沢 節子 Tel 0561-21-3768)

◆研修部会の活動報告(場所 伏見ライフプラザ・ボランティア情報センター 12F)

10月2日に開催いたしました、創立記念講演会(全体研修会)は51名の参加者と共
に有意義な時を持つことができ、皆様のご協力に感謝申し上げます。

第一回のパソコン教室も田中さんの熱心なご指導のお陰で好評裏に終了いたしました。

研究部会11月からの予定が講師、会場などの都合で一部変更がありますのでお知らせ
いたします。

皆様のご出席をお待ちいたしております。

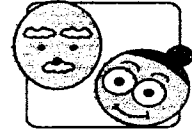


◇7月25日(土) 「最近の消費者相談の傾向と相談対応」 出席 14名

講師 全国消費生活相談員協会 中部支部長 谷奥 さゆみ氏

最近の消費生活相談センターへの相談者の動向と、その具体例をあげて

- ①生活の弱者を目標とした業者の活動状況
- ②クーリングオフを予定して金銭を稼ぐ例
- ③逆に消費者が業者をてだまにとる例など



SLAの電話相談にも役たつもので、業者の新しい手口を、常に勉強している必要性を感じました。

◇8月22日(土) 「消費生活条例・消費者基本法について・電話相談員の会」

講師 2期生 油田 淑子氏

出席 21名

- ①消費生活条例、消費者基本法の成り立ちから 内容について、
- ②事例の具体的な解説と、それに対する対応及び最終解決結果。
- ③消費者としての知識、考える力、先をみる能力、分析する能力について

寄稿感想文

油田さんの解説により、この難しそうなタイトルの中身を、消費者レベルでの具体的な事例をあげて、分かりやすく説明いただき本当に勉強になりました。

個々の具体的な事例を聞いているあいだに、私の気持ちの中に、これは うかうかしておれないなとひしひしと感じました。

世の中は常に進んでおり、売り手も 手を変え、品を変えて、この物の溢れた市場に押し掛けており、買い手の消費者として、常に情報をバックに上手にたちまわらなければ、損をしたり、不愉快な想いをしたりする事があり得るのだと痛感しました。

そこそこのキャリアがあるからと、自分の今迄の経験だけを頼りに、売り手に接することが果たして、最上なのか? 事例の中で売り手が消費者を洗脳する段階に来ている事を知り、今迄の靈感商法や睡眠商法以上の販売方法を研究しており、誰もが引掛からないと断言出来ない時代なんだな一と思い、馬鹿な消費者と言われぬように、新聞やテレビの情報以外に、今回のように常に勉強する必要を感じました。

……いい先生がいて よかったな一……

5期生 田中 芳雄

- ④電話相談員の会は 初めての集まりであり、多くの意見が出ました、財団へも報告し、相談室にノートを置き、その中でくわしい報告がしてあります。

◇9月26日(土) 「男女共同参画の高齢社会を生きるには」 出席 13名

講師 3期生 竹内 くに子氏

男女共同参画型社会とはの解説があり、実践はまず家庭から等の具体例をお聞きして、

そのあと3分間のスピーチで全員が意見を出し、話し合いをしました。特に男性から本音の音がきけ、具体的参画にとまどっている様子もうかがえ 女性の姿勢も考えなくてはと思いました。

「日本電話相談学会の報告」(学会に出席して)

講師 2期生 浅野 澄子氏

- ①電話相談の動向と展望(電話相談は役立っているか?)
- ②電話相談と対面式カウンセリングとの相違点等

多岐にわたる学習の一部を紹介していただき、勉強をしました。



◇10月2日 **中部SLA創立記念行事** (全体研修会) 出席者 51名

第一部『長寿社会をいきいきと暮らす為に 今 アドバイザーのなすべきことは!!』

講師 唐澤 和夫先生 (元愛知県がんセンター病院院長・現労健ヲ・ファミリア勤務)

- ①高齢社会・老化・平均寿命・ADL・QDLなどについて
- ②高齢者の死因
- ③高齢者の病気の特徴、よく発病する病気
- ④老化とところ 等



先生ご自身の病気の具体例、その他をスライドでの解説、高齢者の心理の背景など 豊富な体験からの貴重な講演で、時間があればもっとお聞きしたい内容でした。

第二部「南カリフォルニア大学 ジェロントロジーのセミナーに参加して」

講師 2期生 油田 淑子氏 (5期 坂田 幸子氏)

1週間にわたる グレイドの高い学習の一部を披露され 今後のSLA活動に結びつけて考えておられる様子、敬服の至りでした。

寄稿感想文

多大な費用と時間をかけて国外へのセミナーに参加された、会員の方々のお話をお聞きして、その熱意と研究心の深さに敬服いたしました、今、私たちは未曾有の超高齢社会へと突入しようとしております。しかし、未だ見えて来ぬ私達のほんの先の暮らし振りに、ただ戸惑っているのが現実だと思います。老後もよりよい人生を全うしたい、充実した日々を過ごしたいとの思いは誰しも同じです。10年後、20年後の私が、自分なりに望んだ自分であるために今、私はどうしたらよいか。漠然としながらもそうした思いに駆られながら、講習会に参加しております。来年度は日本社会に適した「ジェロントロジー」を紹介して頂く予定と言うことで期待しております。

5期生 桂川 豊明

第二部「大連市老人問題研究会主催・日中老人問題セミナーに参加して」

講師 3期生 鈴木 正司氏

大連市老幹部合唱部合唱団との交流演奏会に、名古屋ゴールドソング・メロクワイヤの代表として出席され、中国にご造詣の深い所からセミナーにも出席されて、中国の今の情勢・高齢化社会の現状・日本との比較等 現実感のこめられた お話をさせていただきました。

寄稿感想文

秋雨の後の澄んだ青空が眩しい10月2日に、中部SLA協会創立記念講演会が開催されました。

第一部は、私たちが、漠然とした知識として持っている健康上の用語や病気に対して、スライド等を使用して、解りやすく説明していただきました。

年長者に対しては、その人の今まで生きて来た大切な人生を尊重し、生きて行く為の、<希望>を一緒に探して行く事が大切である……と。講演の後は、15分間のティータイム。久しぶりに懐かしいお顔に出会い、あちこちで親交を温めておられる会員の姿が印象的でした。

第二部は、2期生の 油田 淑子さんと 3期生の 鈴木 正司さんにより 参加された、セミナーの報告がありました。お二人の報告は、私たちの今後のSLA活動に沢山の問題を提起して下さいましたように思います。時間が少なかったのがとても残念でした。会を重ねるごとに、会員相互の絆も段々と深まり、21世紀に向けてのSLA活動に明るい光が見えるような気がしました。

終始一貫して、和やかな雰囲気会で会を進めて下さった幹事の方々に感謝して……

2期生 南谷 紀美子

◇第一回SLAパソコン教室

開催日 8/1 8/8 8/22 8/29(AM:PM) 9/5 9/12 9/19(AM:PM) 9/26 (計10回)

場所 名古屋市北区役所内(名古屋社会福祉協議会 ボランティアセンター)

使用機種 NEC ノートパソコン 5台使用(二人で一台 各週交代で持ち帰り練習)

参加人員 11名

特別企画 10/24日 インターネット体験(千種区青柳町-らくだ書店)をしました。

内容 ワープロ(一太郎DASH)を主体にした パソコン全般について

指導員 5期生 田中 芳雄

[尚 今回 名古屋市社会福祉協議会が初めて 外部団体に 機器を貸し出すについては 2期生 外山 晴美氏のご尽力によるもので、感謝いたしております。]

☆参加感想 今まで、パソコンに触った事もなく、難しいという先入観から「私には無理」とあきらめていました。でも 今回参加して、繰り返し、何回でも教えて頂き、おもしろくなって来ましたので機会があれば続けて勉強したいとおもいます。

5期生 松本 敏子

☆インターネット体験に参加して

インターネット・カフェに一人で挑戦するにはずいぶん 勇気が必要ですが、今回 多勢で素人同士ワイワイと参加し 操作はごこちないが貴重なインターネット体験が出来た事は本当によかったと思います。

5期生 寺岡 亮二

◆研修部会 今後の活動スケジュール

◇11月28日(土) テーマ「男女共同参画 Part II」

講師 名古屋市女性企画室 (氏名 未定)

◇12月 会場、その他の都合により 休会します。

◇1月23日(土) テーマ「介護保険について」(全体研修会)

講師 愛知県民生局 (氏名 未定)

◇2月27日(土) テーマ「年金について」

◇3月27日(土) テーマ「ボランティア活動の情報交換会」

「今年度の報告・反省・来期への希望など」

会場 名古屋伏見ライフプラザ・ボランティア情報センター 12F

時間 13:30~16:00

※ おねがい

ボランティアをしている会員の方、体験などおきかせ下さいませんか、連絡をお待ちしております。

連絡先 中島 (Tel 05617-3-4324)



◆平成11年度パソコン教室開催に向けて

本年初めて、開催されましたが、次年度も続けて予定したいと思います、つきましては参加人数等により(貸し出し機器が一回5台のため)年2回開催の検討も必要がありますので、希望者は下記まで はがきでお知らせ下さい。併せて内容等についてご希望があればご記入下さい。尚 当企画は研修部のみではなく全員を対象にしています。

住所 〒494-0007 尾西市小信中島字新田前54-4 田中 芳雄 まで

(財)シニアルネサンス財団 : 出典 SRクラブニュースより

「ジェロントロジー」ってなあに・・・老いも若きも一生勉強

中部SLA 2期生 油田 淑子

7月始め、南カリフォルニア大学で開催された「ジェロントロジー」学部のセミナーに参加しました。「ジェロントロジー」は未だ日本にない分野の学問で大学院では日本の留学生も学んでいました。シニアルネサンス財団では、逸早くこの学問に着目し「長寿社会の人間学」として日本にも根付かせたいと考え、初めてこのセミナーが計画されました。もちろん、日本でも高齢者に関する研究が盛んですが、高齢者＝弱者という固定概念が強く、「介護」や「医療」に偏りがちです。ところが、米国における研究はそうした狭い視野ではなく、「サクセスフル・エイジング」(加齢を成功させる)という観点から高齢者の主体性を尊重し、積極的かつ総合的に長寿社会を捉えています。健康な人が質の高い充実した生涯を満足して送るにはどうしたら良いかを研究課題とし、また同時に、心身の障害や経済的な問題が出た場合にも、その人に合った援助・サービスを選び、人間らしい老後を送ることを目指した幅広く、魅力的な研究です。この学部では調査・研究・教育だけではなく、市民と連携した実践、実証活動も展開しています。私たちが学内の勉強のほかに、日系人のボランティア給食サービスや、老人ホームなどでも研修し、楽しく学ぶことができました。僅か一週間でしたが、医療、心理、社会保障、栄養、経済、金融、哲学、運動などの学科が連携し「サクセスフル・エイジング」を目指した魅力的な学問に触れることができ、長寿社会が急に身近になったように感じました。またこれが、自分の生涯の学習に繋がりそうだ気分も若返りました。来年には、シニアルネサンス財団が、「ジェロントロジー」を日本の社会制度にピッタリした形で紹介する予定だとか、再び日本で、あの魅力的な勉強が続けられるのを楽しみにしています。皆様にも必ず役立つと確信しています。

◆【(財)シニアルネサンス財団】: 情報関係ニュース (文責: 山下 可子)

財団より会員各位へ



1) 《「SLAプラザ」登録のお願い》

財団が運営している インターネット・ホームページ (<http://www.sla.or.jp>)内の「SLAプラザ」は、SLAの皆様が閲覧していただくページです。活動状況や情報などが発表されております。

SLAの自由な発言やディスカッションをすることのできる場でもあります。この場に、より多くのSLAが集い、情報が集まることは、SLA活動領域の拡大、活性化を大いに促進することになると考えます。会員の皆さんの一人でも多くの方が「SLAプラザ」に登録して、活発な情報交換をしていただきますようお願いいたします。

2) 《ホームページ登録「SLAプラザ」について》

登録方法、その他詳細についてのお問い合わせは、下記ホームページ管理担当者までご連絡下さい。(管理担当者 3期生 二神 道子 Tel 052-777-3323 Fax 052-777-3324)

◎ 《パソコンの研修》・・・財団への報告事項

中部SLA協会では、現在、パソコンの研修を担当しておられるのは、5期生 田中 芳雄さんです。パソコンを扱うのは「情報基礎と処理」の技術が必要です。

田中さんは、8月以降、研究部に入会しておられる方の要望に応じて、講師をお引き受

けいただきました。会員の皆さんが一人でも多くパソコンに慣れ親しんでいただくために、研究部員の希望者を対象に、精力的にご指導いただき、このほど、第一期の講習を終了しました。受講生（11人）のみなさんの今後の自主研修を期待する次第です。

パソコン研修に関する相談やお問い合わせは **Tel 0586-62-8178** 田中 芳雄さんへ。

◆【総務委員 会計】よりお願い

平成10年度の年会費 未納の方は 至急下記へお振り込み願います。

東海銀行笹島支店 口座番号 普通：1411404

年会費 ￥3000円

振込先名 中部エアライブアドバイザー協会



◆【ユニセフボランティアグループ「はてな」】からのお知らせ

日時 11月15日(日)

名古屋国際センターホール「秋のサンテリア」でのグッズ販売と募金活動

日時 12月23日(水)

ハンドインハンド 街頭での募金活動

活動に参加して頂ける方も募っています。連絡先 3期生 海野 十衣まで

Tel 052-751-0592

◆注意!!!・・・全会員のみなさまへ

研修部会、地域部会での行事開催日に、当日、暴風雨警報が発令されている場合は中止になります。変更等につきましては 担当者までご連絡ください。

◆訃報

藤井 洋子さん (第5期生)

6月30日 お亡くなりになりました。

昨年 大府国立病院の健康診断で膵臓癌が発見され以来入院闘病生活を送られていました。ご冥福をお祈りします。

編集後記

「パソコンとひとりごと」

「バカー」・「ナンデー??」・「消えたー!!・・・どこいったの?」・「・・・ンンン」・「ナニセイと言
うんや?」・「ヤッパリナー」・「あれー??」・「あんた何しとんねん!!」・「何したんやろー??」
・・・その他ひとりごといろいろ。

これみんなパソコンとお見合いしている時に出てくるひとりごとの一例です、パソコンをやっていると、今までは、どうしてもお宅的(一人で孤独を楽しむ??)に見られがちでしたが、やっている本人は決して、一人ではなく相手(パソコン)と真剣に対話をしています、パソコンを一人の人格として認めて対話をしており決して孤独ではないんです。

当然、他人にはパソコンの言葉が判らず、本人の声しか聞こえないので「チョットおかしいんじゃない??」となるわけです。

皆さんが、これからパソコンに興味を示すときは、もう大丈夫です、何んたって、これからは、パソコンも音声で返事してくれる時代になりました。

「あんた何押ししたんや、それは違うでー」・「バカやなー、何遍教えたらわかるんやー!!」・「もーヤメトケー(これはパソコンの激励の言葉)」 こんな言葉に励まされ、これから、パソコンに挑戦してみませんか。

====やってみて はじめて分かる キーボード====
(やらにゃー いつまでも分かりませんぞー)

キーボードは決して反抗しません、こちらの思うツボです、ユックリ、あせらずマスターしましょう。

